

| | |
|------|-------------|
| 活動日時 | 令和7年7月1日（火） |
| クラス名 | うさぎぐみ（2歳児） |

1.活動テーマ

《テーマ》

色の不思議を発見しよう

《テーマ設定理由》

絵の具の自由画では、それぞれが好きな色を選び描いていたところ、突然混ざり合い他色に変わった様子を不思議そうに見つめている姿が見られたため、色が変わっていく様子を目の前で体験することで、さらに好奇心を引き出せると考え設定した。

2.活動スケジュール

2歳児6名で行う。

- ・両手のひらに2色の絵の具を塗り模造紙にスタンプした後、両手で色を混ざり合わせ、混色した様子を目で見て確認する。

3.活動のために準備した素材や道具

- ・絵の具
- ・模造紙

4.環境構成

- ・壁や床に新聞紙を敷き、子どもが取り組みやすいよう汚れてもよい環境を作り実施する。
- ・色が変わる様子など、気づきや表現を引き出せるような言葉を添えて援助する。

5.探究活動の実践

《活動内容》

- ・両手のひらに他色の絵の具を一色ずつ塗り、片手ずつ模造紙にスタンプした後、両手を混ざり合わせて混色させることで、目の前で色が変わる様子を楽しむ。
- ・混色した両手を再度スタンプすることで、どの色を混ぜるとこの色に変化したのかが目で見て分かりやすいようにする。
- ・完成した作品は干して乾かし、飾ることで達成感も感じられるようにする。

《活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり》

- ・保育者が活動内容を説明し、実際に見本を見せると興味をもって見ていた。
- ・一名ずつ順番に行くと、待つ間も他児の色に興味を示し意欲的に活動に参加する姿が見られた。
- ・「何色になるかな?」、「〇色!」と変化する色を楽しみに期待していた。
- ・活動後は、出来上がった模造紙を見て「〇色になった!」と、上から順番に読み上げていた。
- ・模造紙を壁面に飾ると、しばらく眺めて達成感を感じているようだった。



6.振り返り

《振り返りによって得た保育者の気づき》

- ・以前の絵の具遊びで子どもたち自身が、混色すると他色へ変化する様子に気付いた体験をしたことで、意図が分かり興味を持って活動に取り組むことができていた。
- ・2色を混ぜる上で濃い色や薄い色の絵の具の割合を考慮せず、事前準備が不十分であったことから色の変化が分かりにくいものもあったため、入念な準備を行う必要があった。
- ・模造紙を使用し、活動結果を可視化したことで子どもたちにも分かりやすいものとなったため、次回の絵の具遊びで活かしていきたいと思った。